

2004年度 大学生の就職意識調査結果報告

株式会社毎日コミュニケーションズ
代表取締役社長 中川 信行

【本社】〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1

毎日就職ナビ、毎日キャリアナビなどの情報サイト運営を始め、人材派遣や人材紹介など総合人材サービスを行なう株式会社毎日コミュニケーションズは、1979年以來、大学生の就職意識(大手企業志向、会社選択のポイント、就職希望度など)を調査・発表しております。

このたび7,847名からの回答を得て調査結果がまとまりましたので、ここに発表させていただきます。

【調査結果 Topics】

就職観 例年通り「楽しく働きたい」がトップ

例年どおり全カテゴリーで「楽しく働きたい」がトップ(全体 28.2%、文系男子 24.3%、理系男子 23.2%、文系女子 31.9%、理系女子 26.8%)。1990年に同項目の調査開始以來、理系男女で14年、文系女子で13年、文系男子で10年連続。昨年よりポイントを上げた項目として、「人のためになる仕事をしたい」(全体 11.8%、昨年比+0.9%)や、「自分の夢のために働きたい」(全体 16.0%、昨年比+0.5%)が増加。

大手志向 厳しい就職環境下にもかかわらず「大手企業志向」は定着。男子が上昇、女子が下降。

ここ数年その傾向が高まっている「大手企業志向」は、全体で47.7%と0.5%の上昇。カテゴリー別で見ると特に男子が上昇傾向にあり(文系男子 53.0%で昨年比+3.7%・理系男子 54.9%で昨年比+3.5%)、逆に女子では下落傾向にある(文系女子 44.0%、昨年比 - 1.7%・理系女子 42.0%、昨年比 - 0.4%)。

大手志向×就職観 大手志向は「プライド」や「自分の夢」、中堅志向は「楽しく」や「人の為に」

「大手志向」と「就職観」と掛けあわせて考察してみた。「大手企業志向」の学生に見られる就職観としては「プライドをもてる仕事をしたい」(16.8%で平均+3.3%)や「自分の夢のために働きたい」(16.5%で平均+0.5%)という項目が平均よりも高く、「中堅企業志向」では、「楽しく働きたい」(30.9%で平均+2.7%)や、「人のためになる仕事をしたい」(13.5%で平均+1.8%)など「大手企業志向」の学生とは対照的な項目が高くなっている。

会社選択のポイント 「自分のやりたい仕事ができる会社」がトップ、「社風」や「働き甲斐」が上昇傾向に

「自分のやりたい仕事ができる会社」がトップに(全体 42.9%)。ここ数年の上位項目の推移をみると、「自分のやりたい仕事ができる会社」や「これから伸びそうな会社」が減少傾向にある一方で、「社風が良い会社」や「働き甲斐のある会社」などが増加傾向にある。早期イベントなどが影響か。

行きたくない会社 「暗い」「面白くない」「きつい」を敬遠

「行きたくない会社」として挙げた全体の上位3項目(「雰囲気暗い」40.0%、昨年比+2.7%、「仕事内容面白くない」32.3%、昨年比 - 0.4%、「ノルマがきつい」28.1%、昨年比 - 1.4%)は、昨年と同様で例年通りの結果となった。

就職希望度 「なにがなんでも就職したい」が昨年に引き続き増加傾向に

厳しい就職環境の中で、「なにがなんでも就職したい」という就職希望度は全てのカテゴリーでアップし(文系男子 83.8%、昨年比+1.6%、理系男子 82.1%、昨年比+4.2%、文系女子 83.7%、昨年比+1.9%、理系女子 82.3%、昨年比+6.5%)、全体で83.3%と昨年より2.6%上昇。

【調査概要】

- ・調査対象：2005年3月卒業見込みの全国大学3年生、大学院1年生
- ・調査期間：2003年10月15日～2004年2月5日
- ・調査方法： 当社発行の就職情報誌にアンケートを同封して郵送で回収
就職サイト「毎日就職ナビ」上の入力フォームによる回収
- ・有効回答：7,847名

【内訳】	文系	理系	合計
男子	1,865	1,207	3,072
女子	3,973	802	4,775
合計	5,838	2,009	7,847

本資料に関するお問合せ先：(株)毎日コミュニケーションズ 企画推進課 03(3222)7882

報道関係資料

< 調査結果 >

【1】就職観

例年通り「楽しく働きたい」がトップ

昨年に引き続き、全カテゴリーにおいて「楽しく働きたい」がトップになった。(全体 28.2%, 文系男子 24.3%, 理系男子 23.2%, 文系女子 31.9%, 理系女子 26.8%)。しかし、この項目はここ数年減少傾向にあり、昨年の 0.2% 減少に引き続き、今期は全体で 1.0% の減少となった(文系男子 - 1.9%, 理系男子 - 0.8%, 文系女子 - 0.8%, 理系女子 - 2.5%)。数年前までは頭一つ抜きに出たトップ回答の項目であったが、インターネットなどによる業務内容や仕事内容の情報開示が充実するにつれて現実的な仕事の厳しさを理解し、決して楽しいことばかりではない事を認識するようになったのかもしれない。対照的に、全カテゴリーにおいて昨年よりポイントを上げた項目として、一昨年から増加傾向にある「人のためになる仕事をしたい」(全体 11.8%, 昨年比+0.9%) や、「自分の夢のために働きたい」(全体 16.0%, 昨年比+0.5%) など、仕事に関する精神的な支柱を「支援」や「自己実現」といったものに置き換えて考える学生が増えてきているようだ。

【2】大手志向

厳しい就職環境下にもかかわらず「大手企業志向」は定着。男子が上昇、女子が下降。

ここ数年、その傾向が高まっている「大手企業志向」(「自分のやりたい仕事ができるのであれば大手企業がいい」と「ゼッタイに大手企業がいい」を合わせた比率)は、全体で 47.7% と 0.5% の上昇。カテゴリー別で見ると特に男子が上昇傾向にあり(文系男子 53.0% で昨年比+3.7%・理系男子 54.9% で昨年比+3.5%)。逆に女子では下落傾向にある(文系女子 44.0%, 昨年比 - 1.7%・理系女子 42.0%, 昨年比 - 0.4%)。薄日の差した就職戦線において、就職を楽観視する傾向がある男子学生に対し、先輩の活動状況など考慮して慎重に事を運ぶ女子学生の意識がうかがえる。

大手志向×就職観

大手志向は「プライド」や「自分の夢」、中堅志向は「楽しく」や「人の為に」

「大手志向」と「就職観」と掛けあわせて考察するとその傾向性が浮かび上がってくる。「大手企業志向」の学生に見られる就職観としては「プライドをもてる仕事をしたい」(16.8% で平均+3.3%) や「自分の夢のために働きたい」(16.5% で平均+0.5%) という項目が平均よりも高くなっている。一方で、「中堅企業志向」(「やりがいのある仕事であれば中堅・中小企業でもよい」+「中堅・中小企業がいい」)では、「楽しく働きたい」(30.9% で平均+2.7%) や、「人のためになる仕事をしたい」(13.5% で平均+1.8%) など「大手企業志向」の学生とは対照的な項目が高くなっている。「大手企業志向」ではステータスや自己実現を求める学生が多く、「中堅企業志向」では協調志向やサポート的な業務を求める学生が多く見受けられる結果となった。また、「その他(公務員 U ターン志望など)志向」の学生では「人のためになる仕事をしたい」(19.5% で平均+7.8%) や「社会に貢献したい」(8.3% で平均+3.6%) が高く、「起業志向」(「自分で会社を起こしたい」)の学生では「自分の夢のために働きたい」(37.1% で平均+21.1%) が突出して高く出るなど、それぞれの特徴を示す結果がでている。

報道関係資料

< 調査結果 >

[3] 会社選択のポイント

「自分のやりたい仕事ができる会社」がトップ、「社風」や「働き甲斐」が上昇傾向に

会社選択のポイントとしては調査開始以来、一貫して「自分のやりたい仕事ができる会社」がトップに（全体 42.9%）。ここ数年の上位項目の推移を比較してみると、「自分のやりたい仕事ができる会社」や「これから伸びそうな会社」が減少傾向にある一方で、「社風が良い会社」や「働き甲斐のある会社」などが増加傾向にある。これは企業の早期イベントや大規模な就職イベントに参加する機会が増えた事が原因ではないかと推察される。早期イベントに参加することで、インターネットでは取りきれない生の情報を人事担当者や OB などの「人」というフィルターを介して収集する傾向が高まってきている為だ。その結果、学生が就職先を選択する際の基準として、「社風」や「働き甲斐」といったポイントを重視する傾向が増加していると予測される。

[4] 行きたくない会社

「暗い」「面白くない」「きつい」を敬遠

「行きたくない会社」として挙がった全体での上位 3 項目（「雰囲気暗い」40.0%, 昨年比+2.7%、「仕事内容面白くない」32.3%, 昨年比 - 0.4%、「ノルマがきつい」28.1%, 昨年比 - 1.4%）は、昨年と同様に例年通りの結果となった。特に、「社風」を重視する傾向にある中で、「雰囲気暗い」という項目が男女共に高い数値を示した。

[5] 就職希望度

「なにがなんでも就職したい」が昨年に引き続き増加傾向に

厳しい就職環境の中で、「なにがなんでも就職したい」という就職希望度は全てのカテゴリでアップし（文系男子 83.8%, 昨年比+1.6%、理系男子 82.1%, 昨年比+4.2%、文系女子 83.7%, 昨年比+1.9%、理系女子 82.3%, 昨年比+6.5%）、全体で 83.3%と昨年より 2.6%上昇。また、「希望先でなければ就職しなくともよい」と回答した学生でも、その場合の進路として「進学・留学」（46.3%, 昨年比+0.8%）と「就職留年」（26.0%, 昨年比+1.9%）を挙げる学生は増加傾向にあり、「まずは何とか就職先を見つけ、もしだめなら進学・留年で次のチャンスに掛ける」という流れがより明確になってきている。

「就職意識調査」質問内容

- ）あなたの「就職観」に最も近いものをお選びください。（SA）
 - ）あなたは「大手企業志向」ですか、それとも「中堅企業志向」ですか。（SA）
 - ）会社選択をする場合、どのような会社が良いと思いますか。（MA）
 - ）行きたくない会社があるとしたら、次のどのような会社ですか。（MA）
 - ）卒業しても就職しない若者が増えているといわれます。
あなたの就職希望度は？（SA） / 就職しなかった場合の進路は？（SA）
- SA：Single Answer（択一回答） MA：Multi Answer（複数回答）

本資料に関するお問合せ先：（株）毎日コミュニケーションズ 企画推進課 03(3222)7882

[1] 就職観

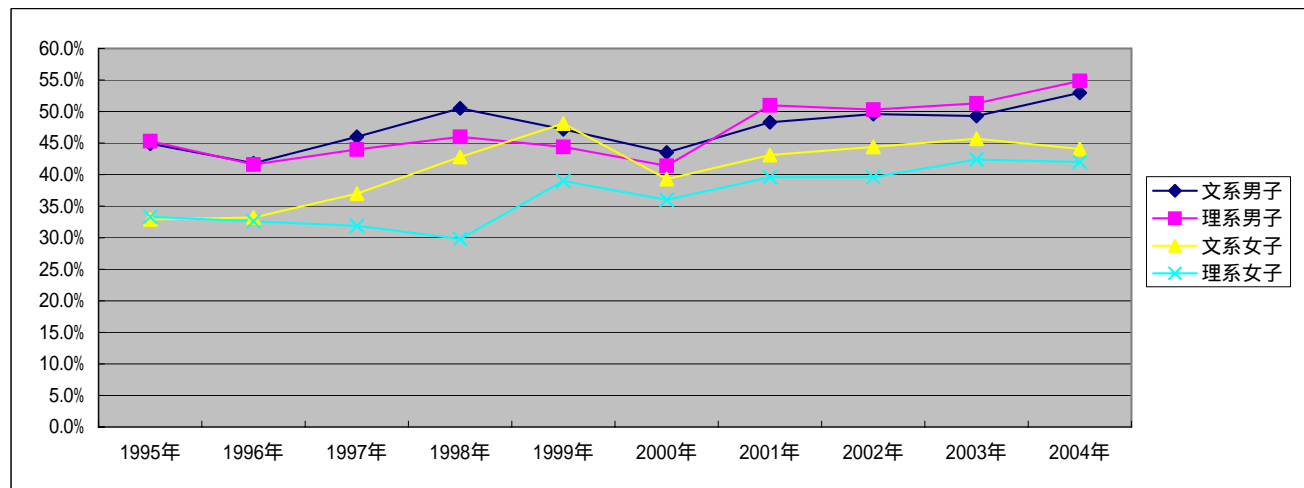
	全体		文系男子		理系男子		文系女子		理系女子	
		昨年比		昨年比		昨年比		昨年比		昨年比
楽しく働きたい	28.2%	-1.0%	24.3%	-1.9%	23.2%	-0.8%	31.9%	-0.8%	26.8%	-2.5%
個人の生活と仕事を両立させたい	22.6%	0.0%	21.1%	-0.8%	20.2%	-1.6%	23.7%	0.7%	24.0%	0.0%
自分の夢のために働きたい	16.0%	0.5%	15.9%	1.6%	19.6%	0.9%	15.2%	0.0%	15.5%	-0.6%
プライドの持てる仕事をしたい	13.5%	-0.4%	16.1%	0.9%	14.3%	-2.2%	12.0%	-0.5%	13.7%	1.1%
人のためになる仕事をしたい	11.8%	0.9%	11.7%	1.4%	11.4%	1.4%	11.7%	0.4%	12.9%	0.6%
社会に貢献したい	4.7%	0.1%	5.6%	-0.8%	6.7%	1.5%	3.6%	-0.3%	5.6%	2.5%
収入さえあればよい	1.7%	0.0%	2.4%	-0.2%	2.4%	0.4%	1.3%	0.2%	1.1%	-1.0%
出世したい	1.5%	0.1%	3.1%	-0.2%	2.2%	0.4%	0.8%	0.4%	0.4%	-0.2%

[2] 大手企業志向

	全体		文系男子		理系男子		文系女子		理系女子	
		昨年比		昨年比		昨年比		昨年比		昨年比
やりがいのある仕事であれば中堅・中小企業でもよい	43.5%	1.0%	36.5%	-1.4%	38.1%	-1.5%	47.6%	2.3%	47.4%	1.0%
自分のやりたい仕事ができるのであれば大手企業がよい	40.2%	-0.2%	42.9%	2.5%	45.1%	2.1%	37.9%	-1.9%	37.4%	-0.1%
ゼツタイに大手企業がよい	7.5%	0.5%	10.1%	1.2%	9.8%	1.5%	6.1%	0.3%	4.6%	-0.3%
その他(公務員 Uターン志望など)	4.8%	-1.2%	5.4%	-2.3%	3.7%	-0.9%	4.6%	-0.6%	5.7%	-1.2%
中堅・中小企業がよい	2.9%	0.0%	2.8%	0.5%	2.2%	0.0%	3.1%	-0.3%	3.6%	-0.3%
自分で会社を起こしたい	1.2%	-0.2%	2.4%	-0.5%	1.2%	-1.1%	0.7%	0.2%	1.3%	0.8%
「自分のやりたい仕事ができるのであれば大手企業がよい」+「ゼツタイに大手企業がよい」	47.7%	0.5%	53.0%	3.7%	54.9%	3.5%	44.0%	-1.7%	42.0%	-0.4%

過去10年間の大手志向推移【「自分のやりたい仕事ができるのであれば」+「ゼツタイに大手企業がよい」】

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年
文系男子	44.9%	41.8%	46.0%	50.5%	47.2%	43.5%	48.3%	49.6%	49.3%	53.0%
理系男子	45.3%	41.6%	44.0%	46.0%	44.4%	41.4%	51.0%	50.3%	51.3%	54.9%
文系女子	32.9%	33.2%	37.0%	42.8%	48.1%	39.3%	43.1%	44.4%	45.7%	44.1%
理系女子	33.3%	32.6%	31.9%	29.8%	39.0%	36.0%	39.6%	39.6%	42.4%	42.0%



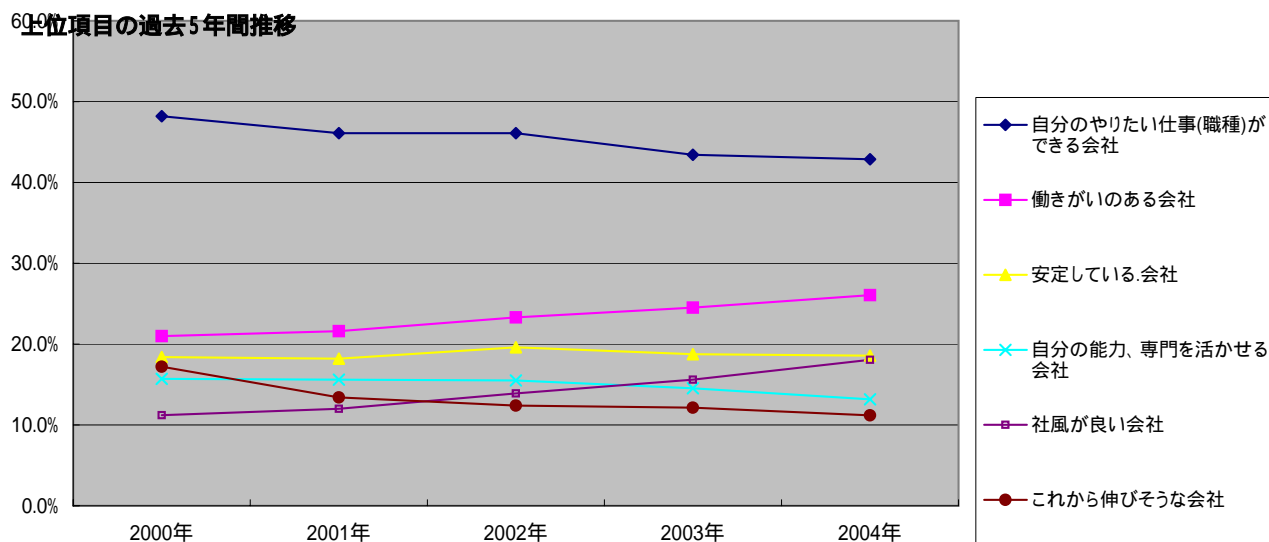
[就職観 × 大手志向]

	ゼツタイに大手企業がよい	自分のやりたい仕事ができるのであれば大手企業がよい	やりがいのある仕事であれば中堅・中小企業でもよい	中堅・中小企業がよい	その他(公務員 Uターン志望など)	自分で会社を起こしたい	平均	「自分のやりたい仕事ができるのであれば大手企業がよい」+「ゼツタイに大手企業がよい」	「やりがいのある仕事であれば中堅・中小企業でもよい」+「中堅・中小企業がよい」
母数	n=585	n=3150	n=3405	n=228	n=374	n=97	n=7839	n=3735	n=3633
収入さえあればよい	6.0%	0.9%	1.3%	3.9%	4.3%	1.0%	1.7%	1.7%	1.4%
楽しく働きたい	26.0%	26.2%	30.7%	33.3%	24.3%	22.7%	28.2%	26.2%	30.9%
自分の夢のために働きたい	8.9%	18.0%	15.9%	11.0%	10.2%	37.1%	16.0%	16.5%	15.6%
個人の生活と仕事を両立させたい	24.1%	22.6%	21.9%	28.5%	24.6%	11.3%	22.5%	22.9%	22.3%
プライドの持てる仕事をしたい	20.5%	16.1%	11.1%	7.0%	7.0%	13.4%	13.5%	16.8%	10.8%
人のためになる仕事をしたい	6.3%	10.1%	13.6%	11.4%	19.5%	4.1%	11.7%	9.5%	13.5%
出世したい	4.3%	1.6%	0.9%	0.9%	1.9%	5.2%	1.5%	2.0%	0.9%
社会に貢献したい	3.9%	4.6%	4.7%	3.9%	8.3%	5.2%	4.7%	4.5%	4.6%

[3] 会社選択のポイント

	全体		文系男子		理系男子		文系女子		理系女子	
		昨年比		昨年比		昨年比		昨年比		昨年比
自分のやりたい仕事(職種)ができる会社	42.9%	-0.6%	39.1%	-0.5%	47.5%	3.4%	42.5%	-1.6%	46.8%	-3.9%
働きがいのある会社	26.1%	1.5%	28.1%	1.3%	24.9%	3.0%	26.2%	1.5%	22.6%	1.0%
安定している会社	18.6%	-0.2%	20.6%	1.6%	20.2%	0.2%	17.9%	-0.8%	14.7%	-1.5%
社風が良い会社	18.1%	2.5%	12.3%	0.6%	10.7%	1.3%	22.6%	2.8%	20.1%	3.5%
自分の能力、専門を活かせる会社	13.2%	-1.4%	13.1%	-1.2%	18.5%	-4.1%	10.3%	-1.2%	19.5%	3.0%
これから伸びそうな会社	11.2%	-0.9%	15.3%	0.0%	14.7%	-2.2%	8.2%	-1.0%	11.1%	1.8%
給料のよい会社	8.1%	0.4%	10.4%	0.1%	9.8%	-0.8%	7.1%	1.1%	5.7%	1.9%
海外で活躍できそうな会社	7.3%	-0.3%	7.9%	1.5%	4.3%	-2.5%	8.6%	-0.4%	4.5%	-0.9%
志望業種の会社	6.9%	0.0%	6.5%	-1.3%	8.0%	2.9%	6.9%	-0.1%	5.9%	-0.9%
勤務制度、住宅など福利厚生の良い会社	8.4%	1.6%	5.7%	0.4%	5.5%	1.0%	10.5%	2.1%	8.5%	1.9%
一生続けられる会社	6.7%	-0.1%	8.3%	-0.9%	6.8%	0.8%	5.7%	0.2%	7.7%	0.6%
大学、男女差別のない会社	5.8%	-0.3%	2.9%	0.2%	1.8%	-0.2%	7.8%	-0.8%	8.0%	-2.2%
親しみのある会社	6.1%	0.1%	4.9%	0.8%	4.9%	0.3%	7.3%	0.1%	5.2%	-2.7%
研修制度のしっかりしている会社	4.3%	-1.3%	4.6%	-1.6%	5.4%	-1.6%	3.7%	-1.0%	5.1%	-1.1%
休日、休暇の多い会社	3.0%	-0.6%	3.7%	-0.4%	3.4%	-0.2%	2.6%	-0.9%	2.6%	-0.3%
転勤のない会社	3.1%	-0.3%	3.0%	-0.6%	2.6%	-0.2%	3.4%	-0.2%	3.1%	0.4%
いろいろな職種を経験できる会社	3.5%	0.1%	4.0%	-0.2%	4.1%	0.3%	3.0%	0.4%	3.6%	-0.2%
有名な会社	3.4%	0.3%	4.5%	0.7%	3.9%	0.7%	3.1%	0.2%	2.0%	-0.1%
若手が活躍できる会社	2.4%	-0.6%	3.8%	-0.1%	2.1%	-1.5%	1.9%	-0.4%	1.8%	-1.1%
事業を多角化している会社	1.0%	-0.1%	1.2%	-0.5%	1.2%	-0.5%	0.9%	0.1%	1.3%	0.7%

69位項目の過去5年間推移

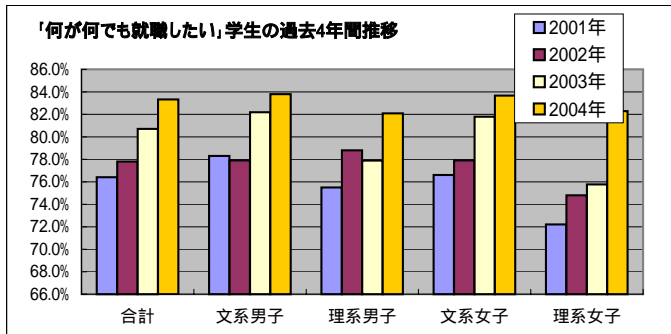
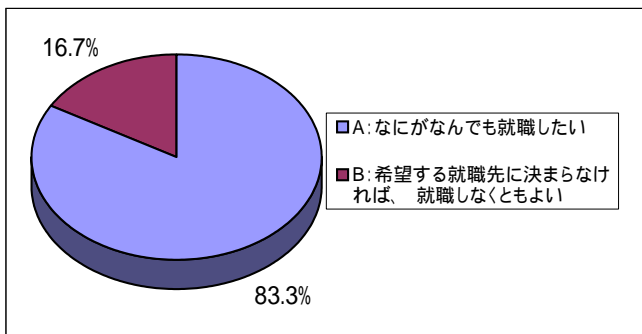


[4] 行きたくない会社

	全体		文系男子		理系男子		文系女子		理系女子	
		昨年比		昨年比		昨年比		昨年比		昨年比
暗い雰囲気のある会社	40.0%	2.7%	37.8%	1.8%	38.7%	2.5%	41.1%	2.4%	42.0%	6.4%
仕事の内容が面白くない会社	32.3%	-0.4%	32.1%	0.2%	41.3%	1.8%	29.3%	-1.2%	33.9%	0.0%
ノルマのきつそうな会社	28.1%	-1.4%	25.0%	-3.3%	17.2%	-4.5%	33.1%	-1.3%	26.6%	4.9%
体質が古い会社	17.7%	-1.6%	20.4%	-1.1%	17.8%	-2.9%	16.3%	-0.5%	18.0%	-4.7%
大学、男女差別のありそうな会社	17.0%	-0.4%	10.1%	1.7%	8.0%	-0.4%	21.6%	-1.6%	23.9%	-6.3%
財務内容の悪い会社	15.0%	-0.6%	17.2%	-1.4%	18.0%	1.4%	13.5%	-0.4%	12.5%	-1.1%
転勤の多い会社	15.9%	-0.2%	17.2%	-1.3%	18.4%	0.5%	14.5%	0.5%	15.8%	-0.9%
休日・休暇がとれない(少ない)会社	15.3%	0.8%	16.5%	1.0%	14.7%	0.8%	15.1%	0.7%	14.7%	1.5%
給料の安い会社	9.3%	0.9%	11.9%	1.7%	12.7%	-0.8%	7.4%	1.3%	7.0%	1.5%
歯車になりそうな会社	4.8%	-0.1%	6.4%	0.0%	8.9%	0.8%	3.3%	0.1%	2.7%	-1.3%
残業が多い会社	4.5%	0.2%	5.1%	0.4%	4.1%	0.7%	4.6%	0.1%	2.9%	0.3%

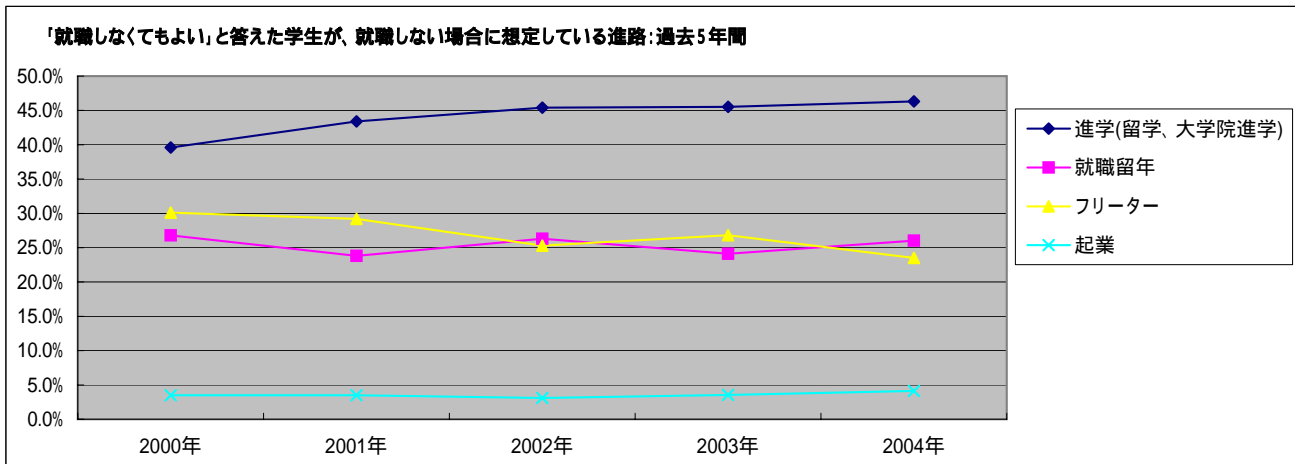
[5] 就職希望度

	全体		文系男子		理系男子		文系女子		理系女子	
	昨年比		昨年比		昨年比		昨年比		昨年比	
A: なにがなんでも就職したい	83.3%	2.6%	83.8%	1.6%	82.1%	4.2%	83.7%	1.9%	82.3%	6.5%
B: 希望する就職先に決まらなければ、就職しなくともよい	16.7%	-2.6%	16.2%	-1.6%	17.9%	-4.2%	16.3%	-1.9%	17.7%	-6.5%



上の質問でBと答えた場合の進路

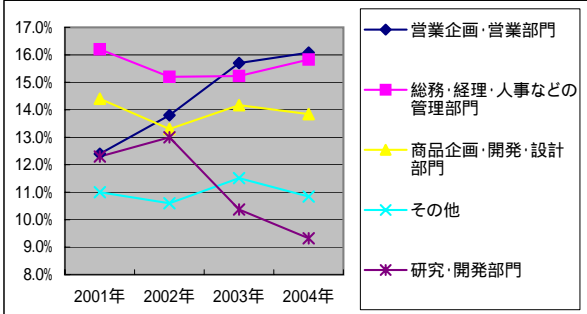
	全体		文系男子		理系男子		文系女子		理系女子	
	昨年比		昨年比		昨年比		昨年比		昨年比	
進学(留学、大学院進学)	46.3%	0.8%	41.4%	3.9%	62.0%	-6.8%	41.0%	5.3%	57.5%	-5.9%
就職留年	26.0%	1.9%	33.8%	-0.5%	19.9%	3.7%	25.7%	1.9%	20.6%	4.3%
フリーター	23.5%	-3.3%	18.2%	-2.1%	12.0%	1.0%	30.9%	-7.8%	18.4%	-1.9%
起業	4.1%	0.6%	6.6%	-1.3%	6.0%	2.2%	2.5%	0.6%	3.6%	3.6%



[6] あなたの志望職種

	合計		文系男子		理系男子		文系女子		理系女子	
営業企画・営業部門	16.1%	0.4%	31.3%	2.4%	5.6%	1.0%	14.2%	0.2%	6.1%	0.5%
総務・経理・人事などの管理部門	15.8%	0.6%	19.3%	0.5%	2.7%	0.2%	20.5%	0.4%	4.5%	2.1%
商品企画・開発・設計部門	13.8%	-0.3%	12.0%	-1.0%	14.8%	0.1%	13.3%	-0.9%	19.4%	3.0%
その他	10.8%	-0.7%	7.2%	-2.3%	3.9%	-0.7%	15.3%	-0.3%	7.5%	-0.9%
研究・開発部門	9.3%	-1.1%	0.5%	-0.3%	36.2%	-3.4%	0.7%	-0.3%	32.4%	-2.4%
広報・宣伝部門	10.2%	1.5%	8.7%	-0.3%	1.3%	0.1%	14.9%	2.6%	3.8%	0.8%
調査・企画部門	7.5%	0.0%	9.0%	0.4%	6.1%	0.5%	7.4%	-0.4%	6.4%	0.2%
海外営業などの海外事業部門	6.5%	0.5%	6.9%	1.6%	1.8%	0.6%	8.7%	-0.1%	1.5%	-0.6%
情報システム部門	4.1%	-0.7%	3.2%	-1.0%	11.9%	0.5%	1.5%	-0.8%	7.4%	-1.1%
技術サービス部門	3.1%	-0.1%	1.1%	0.1%	6.1%	0.3%	3.1%	-0.2%	3.8%	-0.9%
製造技術・生産管理部門	2.7%	-0.1%	0.9%	-0.2%	9.6%	0.8%	0.5%	-0.2%	7.4%	-0.6%

	2001年	2002年	2003年	2004年
営業企画・営業部門	12.4%	13.8%	15.7%	16.1%
総務・経理・人事などの管理部門	16.2%	15.2%	15.2%	15.8%
商品企画・開発・設計部門	14.4%	13.3%	14.2%	13.8%
その他	11.0%	10.6%	11.5%	10.8%
研究・開発部門	12.3%	13.0%	10.4%	9.3%
広報・宣伝部門	8.6%	8.6%	8.7%	10.2%
調査・企画部門	7.9%	7.9%	7.5%	7.5%
海外営業などの海外事業部門	6.0%	5.4%	6.0%	6.5%
情報システム部門	5.3%	6.0%	4.8%	4.1%
技術サービス部門	2.6%	3.0%	3.2%	3.1%
製造技術・生産管理部門	3.4%	3.3%	2.8%	2.7%



[参考資料]魅力を感じている業種 上位10項目の結果

選択方式: 全56業種中2つ選択。

文系総合

2004年

マスコミ	21.2%
旅行・レジャー	16.7%
食品	14.3%
サービス	12.5%
商社	12.1%
銀行	11.0%
空運	7.7%
公務員	7.6%
情報・調査・コンサルタント	7.1%
教育	6.9%

2003年

マスコミ	20.2%
旅行・レジャー	15.5%
食品	13.3%
商社	12.9%
サービス	12.5%
銀行	10.1%
公務員	8.9%
情報・調査・コンサルタント	8.2%
教育	7.4%
空運	6.9%

2002年

マスコミ	20.8%
食品	14.5%
商社	12.6%
旅行・レジャー	12.6%
銀行	11.8%
公務員	10.7%
情報・調査・コンサルタント	8.8%
サービス	8.7%
ファッション(アパレル)	6.8%
教育	6.3%

2001年

マスコミ	19.9%
旅行・レジャー	14.2%
食品	11.6%
商社	11.6%
公務員	10.7%
銀行	9.8%
情報・調査・コンサルタント	8.9%
サービス	8.3%
ファッション(アパレル)	6.5%
空運	6.4%

理系総合

2004年

食品	22.5%
電子・電気機器	14.0%
情報・調査・コンサルタント	13.3%
薬品	11.7%
化学	11.1%
化粧品	11.0%
公務員	8.9%
建設	7.8%
ソフトウェア	7.3%
輸送用機器	7.1%

2003年

食品	18.4%
薬品	15.2%
情報・調査・コンサルタント	14.3%
電子・電気機器	13.3%
化学	11.8%
公務員	9.8%
化粧品	9.4%
建設	8.4%
ソフトウェア	8.3%
機械	7.3%

2002年

食品	18.3%
薬品	16.1%
電子・電気機器	14.9%
情報・調査・コンサルタント	13.5%
化学	12.8%
化粧品	10.2%
ソフトウェア	9.4%
公務員	9.4%
機械	8.3%
通信	7.2%

2001年

食品	17.3%
電子・電気機器	16.4%
薬品	14.0%
化学	13.3%
情報・調査・コンサルタント	12.3%
公務員	10.3%
化粧品	10.0%
ソフトウェア	9.2%
通信	8.4%
建設	8.0%

2000年度よりアンケートを始めた「魅力のある業種」について、上位に挙げた10項目を掲載した。
 文系学生に最も支持されているのは、根強い人気の「マスコミ」で5年間連続となった。
 昨年トップ10に返り咲いた「空運」は今年も人気を集めて7位に上昇した。
 理系学生では「食品」が5年連続のトップ。デジタル家電が好調な「電子・電気機器」が2位に上昇。
 同じく好調な自動車業界を含む「輸送用機器」がトップ10入りしている。

2004年 <各カテゴリー別> 魅力のある業種 上位10項目

文系男子

2004年

マスコミ	17.5%
商社	17.0%
銀行	15.6%
食品	12.4%
情報・調査・コンサルタント	11.4%
旅行・レジャー	9.1%
公務員	9.0%
サービス	8.2%
鉄道	6.4%
電子・電気機器	6.2%

2003年

マスコミ	18.2%
商社	16.0%
情報・調査・コンサルタント	12.3%
銀行	12.3%
公務員	11.5%
食品	11.1%
旅行・レジャー	8.7%
サービス	8.1%
鉄道	7.5%
流通	5.8%

2002年

マスコミ	18.2%
銀行	14.8%
商社	13.8%
公務員	12.8%
食品	12.7%
情報・調査・コンサルタント	11.2%
旅行・レジャー	7.4%
鉄道	6.7%
サービス	6.3%
流通	5.9%

2001年

マスコミ	16.3%
商社	13.7%
銀行	12.2%
情報・調査・コンサルタント	11.7%
公務員	11.6%
旅行・レジャー	9.4%
食品	9.3%
電子・電気機器	8.0%
通信	7.8%
サービス	7.5%

理系男子

2004年

電子・電気機器	19.7%
情報・調査・コンサルタント	15.2%
食品	12.7%
化学	11.0%
輸送用機器	10.5%
ソフトウェア	8.9%
公務員	8.6%
建設	8.6%
機械	8.5%
ガス・電力・エネルギー	8.5%

2003年

電子・電気機器	17.6%
情報・調査・コンサルタント	16.0%
化学	11.9%
薬品	11.8%
食品	11.0%
機械	10.3%
公務員	9.9%
建設	9.6%
ガス・電力・エネルギー	9.5%
ソフトウェア	9.3%

2002年

電子・電気機器	20.1%
情報・調査・コンサルタント	14.9%
化学	12.5%
機械	11.9%
食品	11.3%
ソフトウェア	11.0%
薬品	10.6%
公務員	9.0%
通信	9.0%
ガス・電気・エネルギー	8.8%
輸送用機器	8.8%

2001年

電子・電気機器	21.5%
情報・調査・コンサルタント	14.1%
化学	12.6%
食品	11.2%
輸送用機器	10.5%
薬品	10.4%
通信	10.3%
公務員	10.1%
ソフトウェア	10.0%
機械	8.8%

文系女子

2004年

マスコミ	22.9%
旅行・レジャー	20.3%
食品	15.1%
サービス	14.5%
商社	9.8%
空運	9.4%
銀行	8.9%
化粧品	8.7%
教育	8.4%
ファッション(アパレル)	7.1%

2003年

マスコミ	21.3%
旅行・レジャー	19.4%
サービス	14.9%
食品	14.5%
商社	11.1%
空運	8.9%
教育	8.9%
銀行	8.8%
化粧品	8.1%
公務員	7.4%

2002年

マスコミ	22.6%
旅行・レジャー	16.4%
食品	15.9%
商社	11.7%
サービス	10.4%
銀行	9.5%
公務員	9.2%
ファッション(アパレル)	8.2%
教育	8.0%
空運	7.4%

2001年

マスコミ	22.6%
旅行・レジャー	18.0%
食品	13.4%
公務員	10.0%
商社	10.0%
空運	9.1%
サービス	8.9%
銀行	7.9%
教育	7.9%
化粧品	7.6%
ファッション(アパレル)	7.6%

理系女子

2004年

食品	37.2%
化粧品	21.2%
薬品	16.8%
化学	11.2%
情報・調査・コンサルタント	10.5%
公務員	9.4%
住宅	7.7%
マスコミ	7.0%
建設	6.5%
電子・電気機器	5.5%

2003年

食品	32.0%
薬品	21.6%
化粧品	19.7%
化学	11.6%
情報・調査・コンサルタント	11.3%
公務員	9.7%
マスコミ	7.0%
住宅	6.5%
ソフトウェア	6.5%
建設	6.2%

2002年

食品	32.7%
薬品	27.5%
化粧品	23.0%
化学	13.5%
情報・調査・コンサルタント	10.5%
公務員	10.3%
マスコミ	7.2%
ソフトウェア	6.3%
住宅	5.4%
その他	5.3%

2001年

食品	27.7%
薬品	20.2%
化粧品	19.3%
化学	14.7%
公務員	10.6%
情報・調査・コンサルタント	9.1%
建設	8.2%
住宅	8.1%
電子・電気機器	7.8%
ソフトウェア	7.8%